



NEWS LETTER

名古屋 YWCA 国際交流会
2017年8月

これからが真夏本番だということに、もうすでに夏バテ気味の今日この頃です
みなさん、水分をたくさん取ってこの大変な季節を乗り切りましょう
6月から7月までの活動報告とこれからの予定をお知らせします

活動報告

おしゃべり広場

新しい学生さんも定着してきました。昼から授業のあるパートクラスの学生さん
も早めに来ておしゃべり広場に参加してくれています
8月いっぱい夏休みです

おしゃべり広場イベント

お抹茶を自分でたててみよう

日時：7月10日（月）12：40～13：30

たくさんの学生さんが参加してくれました

苦い、苦い、と言って後からまたお菓子を口に入
れる人もいました

とてもよい経験になったと思います



外国人が話す日本語サロン

アジアとヨーロッパの交差点

「火に守られている国：アゼルバイジャン」

日時：7月15日（土）10：30～12：00

ゲスト：アーマドバ メーリバン さん

参加者：30名

日本語学校行事

スピーチコンテスト

日時：7月14日（金） 9：15～

4月から日本語の勉強を始めたJ1クラスの学生さんの上達の速さには毎年
驚かされます

お菓子教室

美保さんのおいしいクッキーを作ってみよう

日時：7月11日（火） 13：30～3：00



参加者：学生7名、国際交流会会員4名
みんなでワイワイとコーンフレーククッキー
を作りました。出来上がったクッキーをおし
ゃべりしながら試食し、残ったものを家族の
お土産にとみんな嬉しそうに持ち帰りました。
次回は出席者の中のマレーシアからきたサン
ディーさんがお国のクッキーを教えてくれる
ことになりました



これからの予定

おしゃべり広場

9月4日からスタートです

おしゃべり広場イベント

かるたとり

10月23日(月) 12:40~13:30

みんなでかるたや百人一首の坊主めくりなどを楽しみたいと思います
是非ご参加ください

外国人が話す日本語サロン

ウクライナのお話

日時：9月9日(土) 10:30~12:00

詳しくはチラシをご覧ください

外国人が話す日本語サロン NO.122

アジアとヨーロッパの交差点

火に守られている国：アゼルバイジャン

日時：2017年7月15日(土)

ゲスト：アマードバ メーリバン (Ahmadova Mehriban) さん

アゼルバイジャンの概要

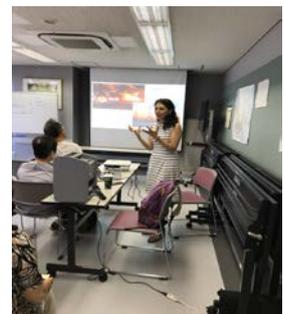
正式名：アゼルバイジャン共和国

1991年、ソビエト連邦より独立。

北はロシア、北西はジョージア、西はアルメニア、南はイランと国境を接する。

東はカスピ海に面する。

面積：86,600 km² 人口：9,383,700人 首都：バクー 公用語：アゼルバイジャン語



宗教：イスラム教 通貨：マナト

アゼルバイジャン共和国の近年

資源開発や投資により急速に経済発展している。首都バクーはコーカサス地域の中心都市になりつつある。

火の国—アゼルバイジャン

天然ガスや石油の埋蔵量が豊富なアゼルバイジャンでは、**Yanar Dog** と呼ばれる自然ガスにより国土が燃えている場所があったり、都市ナフタランには新鮮な石油にを使ったスパがあり、身体の治療を専門家の指導の元、受診する事ができる。

その他の石油関連の話題は、ソビエト時代に海上に建てられた **Oil Rocks city** に 200 家族が住んでおり、全員石油の仕事をしている。等がある。

かつてゾロアスター教(拝火教)が栄えた地域でもあり、ゾロアスター教の古い寺院も多数残されている。石油や天然ガスが身近に存在し、国民生活にも影響している国である。

風の街—バクー(首都)

バクーは風と共にある街である。風が強いので、常に外に出られない。アゼルバイジャンには風に名前が多数ついている。北風、南風、その他の風、其々名前があるようである。かつてアゼルバイジャンの国旗は世界最大の大きさの国旗であった。これも風が強い為、小さい旗ではすぐに劣化してしまう為のようだ。

バクーには世界遺産の旧市街イチェルシェヘルがと経済発展により建設された近代的なビルが建っている。古い物と新しい物がバランスをとって共存している不思議な景色がある。

イチェルシェヘルはバクーの中心に街の形態を崩さないよう保護されて残されており、旧市街の周りに近代的な高層ビル等が建設されている。旧市街イチェルシェヘルも風が柔らかく通るよう意識して造られているようである。

アゼルバイジャンの文化・日常

国際的なイベント：アゼルバイジャンは目下急速な経済成長中であり、様々な国際イベントも沢山行われている。**Eurovision Song contest**(ヨーロッパの国の音楽オリンピックのような大会)、**F1** グランプリ等。

お祭り：新年の火のお祭りノウルーズは、たき火の上を飛ぶゾロアスター教のお祭りで楽しみにしている人が多い。新しい生命の誕生のお祭りである。

名産品：絨毯、ざくろ チェリー。

食べ物：日常の食べ物は豚肉以外のものを使った料理。肉類は羊、鶏、牛を使用。魚や野菜や果物も豊富。アルムディ(お茶の名前) パフラバ(ノウルーズの料理) シュケルブラ(家庭料理)等。

以上、日本とは文化圏の違う興味深いお話、経済発展により豊かな暮らしになりつつあるアゼルバイジャンのお話が聞けました。